



# Newsletter

March, 2016  
(Vol.7)

佐賀大学男女共同参画推進室  
〒840-8502 佐賀市本庄町1番地  
tel: 0952-28-8393  
gender@mail.admin.saga-u.ac.jp

## 「第7回九州・沖縄アイランド女性研究者支援シンポジウムin鹿児島」が開催されました

平成27年9月11日に、鹿児島大学にて「第7回九州・沖縄アイランド女性研究者支援シンポジウム in 鹿児島」が開催されました。本シンポジウムは、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」採択を受けた九州圏内国公立大学11大学の男女共同参画に関わる理事・副学長が一堂に会し、各大学の取組や課題、今後の目標等を語り合う場となっており、平成20年度から毎年当番制で開催されているもので、今年で7年目となります。今回は、男女共同参画に関する様々な課題のうち、「次世代育成」をテーマに、「男女共同参画未来創生 次世代へのバトンリレー 本音でTalk」と題し開催されました。午前中には、各大学から推薦された女性研究者(大学院生)を含む次世代研究者によるワークショップが開催されました。次世代育成について当事者としての視点からの意見をとりまとめました。午後は、午前中に行われたワークショップでの意見を元に、登壇者と会場の参加者との間で討論が展開されました。



午前中に行われた女性研究者のパネル展示で、本学農学部の辻田有紀准教授がポスターアワード(最優秀賞)を受賞されました!

## JST女子中高生事業に大分大学との連携で採択されました

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の平成27年度「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」に採択され(大分大学との連携)、佐賀大学内において中高生に向けてイベントを実施し、また福岡県、長崎県など県外の高校にも出前講座に行きました。(詳細は3-4ページを参照してください)。

## 介護に関する講演会を開催しました

佐賀大学男女共同参画推進室・介護講演会

「愛する家族が『要介護』になったら  
～日本とアメリカの比較から見えてくる家族介護者としての心～」

【日時】2016年3月24日(木) 18:00～19:30

【場所】本庄キャンパス 文化教育学4号館 1階 美術科教室

【講師】早野 ZITO 真佐子 氏

(医療福祉ジャーナリスト、帝京科学大学看護学科非常勤講師)

【対象者】学生、教職員、関心のある方はどなたでも

【申込み】不要

現在ご家族を介護していらっしゃる方々、あるいはこれから不安等を感じていらっしゃる方々、お話を聞きにこられませんか? 家族としてできることなどをわかりやすくお話します。



### プロフィール

東京医療保健大学国際交流アドバイザー、翻訳家、帝京科学大学看護学科非常勤講師、医療福祉ジャーナリスト、東京都在住。

福岡医学専門学校佐賀大学 医療福祉ジャーナリズム国際研究センター 理事、東京大学医療系第1人財養成講座の協理、西門学院大学 国際文化学部 国際文化学、グローバル大学、神戸大学グローバル大学、オーストラリア大学、1991年シドニーに転居。2006年帰国。

### 著書・訳書

『介護看護という仕事』(2010)、『現代に読み解くナチンゲール』(2011)、『死ぬ権利は誰のものか』(翻訳) (2012)との著書。

佐賀大学では、子育て、介護などライフイベントに遭遇する教職員に対してサポートを行うべく、介護についての活動も行っています。今年は、要介護5の配偶者のケアをしながら、研究・教育活動を続けられている早野ZITO真佐子先生をお招きし、「愛する家族が『要介護』になったら」というタイトルでお話を伺いました。米国人の配偶者をお持ちで、米国と日本とで介護生活をされてきたご経験や「ユマニチュード」という新しいケアの考え方などを教えて頂きました。

## 学内の男女共同参画の様々な取り組み

全学の男女共同参画推進委員会を中心に、各部署が様々な取組や活動をしています。

### ● iroiroadcafé



月に一度、様々なテーマを設けて語るランチタイムのイベントiroiroadcaféを実施しました。子育てや仕事との両立、ママ研究者向け、男性の子育て、などの様々なテーマで開催しました。

### ● 職員研修実施

職員の方々の研修や会議の中で、男女共同参画についての取り組み紹介をしています。8月20日には学内の課長研修、そして9月8日には九州地区の国立大学の係長研修にて、男女共同参画推進についての吉住室長による講義を実施しました。

### ● インターフェース科目「男女共同参画とジェンダー」継続中!

2014年度から始まったインターフェース科目「男女共同参画とジェンダー」に本庄の学生約60名(2年生)が受講中です。国内外の男女共同参画や結婚・出産・育児、男性の子育て、そしてデートDVなど多様なテーマでグループワークなどアクティブ・ラーニングの手法を用いながら学習しています。様々なゲストスピーカーによるお話もあり、そのようなロールモデルに触れることで、これから社会人、あるいは家族を持つ学生たちに

## ワーク・ライフ・バランス支援部門

### ★夏休み・親子見学デーを開催しました♪

8月8日(土)に佐賀大学鍋島キャンパス看護学科棟にて、夏休みの子どもイベント「親子見学デー」を開催しました。このイベントは、佐賀大学の教職員である保護者とそのお子さん向けに行われ、佐賀大学でどんなことが学ばれていたり、研究されているのかなどについて触れる機会でした。

母性看護学実習室にて、赤ちゃんのお人形や妊婦さんのおなかの中がわかるイラストなどを見ながら、親子で命の大切さについて学びました。

**佐賀大学男女共同参画推進室ワーク・ライフ・バランス部門**

**夏休み・親子見学デーのお知らせ** 平成27年7月27日

佐賀大学では、男女がともに学びやすく、働きやすい環境づくりを目指すために、平成21年度より「男女共同参画推進室」を設け、授業と実習(子育て)の両立支援を行っています。今回、ワーク・ライフ・バランス部門では、親子の心を通わせ、子どもたちが夢の職業に就くための環境づくりを目的として、佐賀大学内の「夏休み・親子見学デー」を実施することになりました。

この夏休みの機会に、ぜひ親子で佐賀大学を訪ねてみてください。

日時：2015年8月8日(土曜日) 10時00分～11時30分

場所：佐賀大学 鍋島キャンパス 看護学科棟 5階 母性看護学実習室

対象者：佐賀大学教職員とそのお子さん(小学生) 15組 (850名)

費用：無料

テーマ：「1人の子」について考えてみよう！～妊娠体験や赤ちゃんだった時期～  
 ・「1人の子」って大切だろ！ 非妊娠産後(母子看護学)によるお話し  
 ・親子で経験しよう！ 妊娠体験やお人形人形を駆使して、いろいろ体験してみよう！  
 など

申込方法：男女共同参画推進室(zender@mail.adm.nissan.uac.ac.jp)までメールでお申込みください。その際は、併せて「親子見学デー参加希望」と明記の上、お名前、ご所属(職名)、お住い住所のつづき携帯電話の宛先(携帯メールアドレス)を記入の上、送付をお願いします。(申込締切日：7月27日(日)～31日(木)まで)

【お問い合わせ・申し込み】  
 佐賀大学男女共同参画推進室 zender@mail.adm.nissan.uac.ac.jp tel: 0952-29-8393  
 ※なお、下のお子さんが本校学習の機会などでご参加を希望の場合は、その旨、メールに記載をお願いします。

## キャリア支援・女性研究者支援部門

### ★研究補助員制度をご利用頂いています

平成21年度から「研究補助員雇用制度」がスタートしています。平成21年度から開始された制度で、平成24年度からは、女性だけではなく男性研究者にも枠が広がっています。今年度は前期に12名、後期に2名の方にご利用頂きました。この制度は、子育てだけではなく、介護や家族の看病にも対象が広がっており、研究者のワーク・ライフ・バランスを支援する制度です。公募にあたっては学内メール、ウェブ等で告知をいたします。興味のある方は、ぜひご応募ください(過去の書類もウェブに掲載していますので、ぜひご覧ください。)

### ★女性の事務職のランチ会を行いました！

このキャリア部門では、女性の研究者だけではなく、女性の職員のキャリアについても検討をしています。3月22日(火曜日)に女性の課長ならびに副課長の方々とランチ会を実施しました。第3期中期目標・中期計画では、学内における指導的な立場の女性が増えることが明確に掲げられており、今後どのように進めるのかについて今後検討をしていきます。

## 意識啓発・広報部門

女性研究者とロールモデル集  
**佐賀大学で輝く！研究者というオシゴト**  
 ～ママ研究者～

森田 佐知子 先生  
 キャリアセンター 准教授

「オシゴト」として、研究者という職業に就くことは、多くの女性にとって大きな決断です。本書は、佐賀大学の女性研究者の活躍の場を垣間見ることができ、研究者という職業の魅力や、子育てと研究の両立の工夫などが紹介されています。また、研究者としてのキャリアアップのヒントも提供されています。

学内の女性研究者をご紹介します『ミニ・ロールモデル集～佐賀大学で輝く！研究者というオシゴト』を作成しました。実際には手のひらサイズのコンパクトな大きさで、大学の取組や各学部の女性研究者の紹介をしています。今年は第二弾としてママ研究者にフォーカスを当てました。いろんな部局の女性研究者の仕事と家庭の両立についてご紹介をしています。

## その他の活動紹介

### 【学内】

●佐賀県男女共同センター(アバンセ)の「男女共同参画川柳・ポスターコンテスト」の巡回展示を、2月1日より1週間、佐賀大学附属図書館・本館(玄関スペース)にて実施中しました。毎年アバンセが実施している男女共同参画についての川柳・ポスターコンテストでの入賞作品を展示するイベントで、ちょうど試験期間中ということもあり、図書館に来る大学生が多く立ち止まって、ポスター、川柳に見入っていました。

### 【次世代育成】

佐賀大学では、次世代育成支援行動計画を策定しており、今年度も新たに計画を実行中です(平成27年4月1日～平成29年3月31日)。妊娠中の女性教職員の産休・育休取得や、男性の育休取得をサポートするような様々な制度があり、それらを推進しています。このような次世代育成を推進し実行している組織として、「くるみんマーク」(右イラスト)も取得しています。



# JST女子中高生理系選択応援プログラム報告

佐賀大学では、平成27年度JST(科学技術機構)の女子中高生理系選択応援プログラムに採択され(大分大学と連携)、様々な女子中高生に対するリケジョの活動を推進してきました。

## ★城東高校&杵岐高校に出前講座に行きました★ ～「母と娘への『ものづくり理系学部』からの招待状～

8月22日(土)、福岡工業大学附属城東高校にリケジョの出前講座に行きました！大分大学と佐賀大学の理系の大学院生の方より、高校時代の話、大学生生活、そして大学院での研究や就職活動までを発表してもらいました。参加した高校生と保護者は18名。また同様の企画を長崎県の離島である杵岐高校でも実施(9月19日(土)、参加者70名)。講演終了後には、大学関係者がいくつかのグループに分かれて、高校生からの質問に答えました。参加した高校生からは、「視野が広がる貴重な体験だった」との声がきかれました。



## ★清和高校の生徒に出前授業を行いました★

10月26日(月)、佐賀大学の本庄キャンパス教養教育 1号館4階144番教室にて、佐賀市の清和高校の生徒65名に対し、佐賀大学農学部准教授の弓削こずえ先生の出前授業を実施しました。弓削先生の高校や大学時代のお話、そして現在の研究は乾燥した土壌でどのように野菜が育つのか、という将来の食料生産につながるお話をして頂きました。アンケートでは、「大学で具体的にどんなことを学ぶのかわかった」「具体的な入試の話について聞くことができた」という声が聞かれました。

## ●オープンキャンパスにて「女性研究者と語ろう」を開催●

8月7日(金)、佐賀大学では年に1度のオープンキャンパスの際に、男女共同参画推進室のブースを設け、佐賀大学における理工学部や農学部の理系の女性研究者の活躍を展示パネルにて紹介をしました。当日は50名の方がブースを訪れてくれました。ブースでは女子学生相談窓口を設け、各学部の女子学生、大学院生が高校生の進学の相談に乗りました。



## ●学園祭にて「理系女性研究者と話してみよう！聞いてみよう！」を開催●

11月7日(土)、学園祭の際に、女子中高生とその保護者を対象に「理系女性研究者と話してみよう！聞いてみよう！」を開催しました。女子高校生、その保護者他15名の参加がありました。男女共同参画推進室よりなぜ大学で男女共同参画なのか、また農学部の大学院生、研究者の方に、高校時代のこと、大学、大学院での研究内容、そして就職活動などについてもお話頂きました。参加した生徒さんからは、「男女共同参画」について学んだ機会が無かったのが良かった、という意見などが出ました。



★「Girl Power in Science! リケジョのススメ ～再生医療と3Dプリンターの現在～」を開催★  
 1月23日(土)、佐賀大学本庄キャンパス内にて女子中高生とその保護者を対象に、「Girl Power in Science! リケジョのススメ ～再生医療と3Dプリンターの現在～」を開催しました。4名の生徒さん達と17名の保護者の方々が集いました。英国から佐賀大学に来日中のアナ・ベリッシモさんから、細胞から人工血管を作る再生医療についての説明をわかりやすくお話してもらいました。また佐賀大学で微生物の研究をしている研究員の龍田典子さんからは、子育てをしながら研究を続けていくことについてお話を頂き、好きな研究に打ち込む女性研究者が多数いることを女子中高生にも知ってもらいました。お二人のお話の後はミニ実験を実施。家庭にある簡単な物(塩、洗剤)を利用していちごやキウイからDNAを取り出しました。楽しいイベントとなりました!



★「女性土木技術役職者との座談会」開催★

1月27日(水)、本庄キャンパス 大学会館2階多目的ホールにて、リケジョの働き方(建設業界の女性の働き方)ということで、講師に辻丸祥子さん(国土交通省九州地方整備局筑後川河川事務所)、田邊麻由子さん(三井住友建設(株) 土木本部土木設計部)をお招きし、学生55名、他7名が参加をしました。国土交通省には、九WEの会(九州地方整備局女性技術者の会)があり、少ない女性技術者が情報交換をしたり、子育てと仕事の両立をするための制度づくりなどを進めていること、なぜ辻丸さんが土木に興味を持ったのかなど幼少のころからのお話を頂きました。また田邊さんからは、建設業界で女性技術者を増やすための取り組みとして「けんせつ小町」という連携組織があること、自分は橋や道路づくりに興味があり、現場監督など男性しかいない職場でも仕事をこなしていることなどのお話がありました。講演後のアンケートでは「土木方面は視界に入っておらず、将来の選択肢が広がった」「女性が働きやすい環境が整っていることに驚きました」などの意見が寄せられました。

★「ものづくり・ことづくりに関わる方々との交流会」を開催★

2月7日(日)、本庄キャンパス 教養教育1号館3階物理地学実験室にて、女子中高生とその保護者を対象に「ものづくり・ことづくりに関わる方々との交流会」を開催しました。女子中高生12名、大学生4名、保護者10名、その他講師の方々(8名)総勢34名の参加者となりました。第一部では、理系企業の方々(熊本電気工業、亀屋硝子株式会社、株ミゾタ)より「ものづくり」企業としてのお話がありました。第二部では様々な企業に参加して頂き(環境系NPO、ラジオ局、行政書士、美容会社、浄化槽の会社)、各テーブルに分かれグループトークを行いました。参加者から「あっと言う間でとても有意義でした」という声や、保護者から「自分達の若い時にこんなイベントがあったら良かった」というご意見も頂きました。



★男女共同参画推進室講演会「日本IBMにおけるダイバーシティ推進と女性の活躍を支える組織作り」★

2月12日(金)、本庄キャンパス大学会館2階多目的ホールにて、日本アイ・ビー・エム執行役員の志済聡子氏をお招きし、ご講演頂きました。学生の参加者は8名、保護者を含む63名の合計71名の参加がありました。志済さんは文系出身ながらSEの分野で就職後、営業職で活躍され、現在はセキュリティ事業本部長を務められています。アイ・ビー・エムは多国籍企業であり、様々な人種、文化背景、宗教の多様性があり、女性も多く管理職として活躍している会社で、日本国内にも海外にもお手本になるようなロールモデルがあったそうです。これまでのご経験を活かし、現在は北海道大学にて同窓生が学生に長年の経験や知見、考え方を伝授するプログラム「新渡戸カレッジフェロー」にも関わっていらっしゃいます。



ニュースレター編集委員

大串浩一郎(工学系研究科・教授)、小西みも恵(経済学部・准教授)、網谷 綾香(文化教育学部・准教授)、齋藤 勝彦(シンクトロン光応用研究センター助教)、黒木幸代(経済学部係長)、溝口香織(総務部総務課係長)、宮地歌織(男女共同参画推進室・特任助教)

